

事例報告書

【問診票の改訂により、診療の質の向上を図った事例】

提出 No. _____

大分類	A) 病棟管理・ソーシャルスキル	中分類	6 医療の質改善
主たる病院総合診療医像	9. 様々な部門や階層での組織マネジメント技術に長け、院内診療の最適化に貢献できる		
実施期間：20XX年XX月XX日～20XX年XX月XX日			

【この事例を選定した理由】

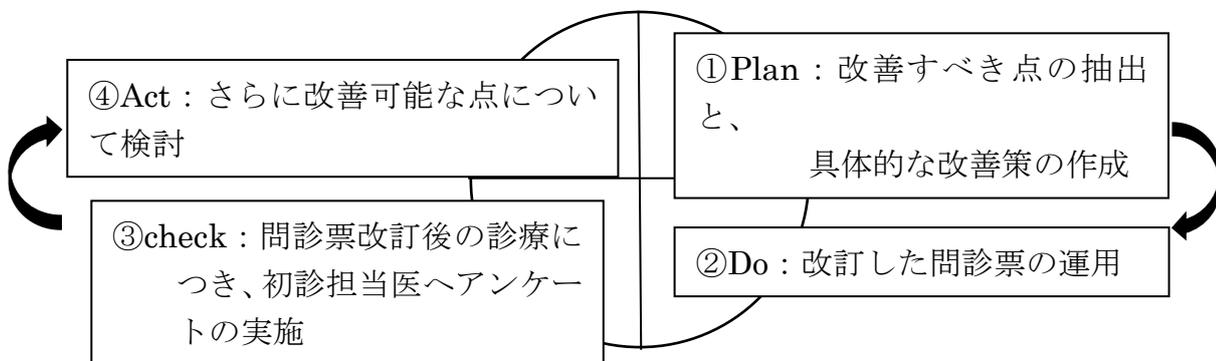
問診票は、必須となる病歴情報の漏れの防止および診察時間の短縮に有効な手段である。日常診療における質の改善（quality improvement; QI）を図る手段の一つとして、当科で従来利用していた問診票の問題を分析し、PDCA サイクルに基づき問診票の改訂を行ったので報告する。

【事例の記述と考察】

XX 病院総合診療科では、他の医療機関で診断困難であった症例や生物・心理・社会的問題を有する複雑な症例の紹介が多く、患者一人に対して長い診療時間を要する。診療時間を効率化するため、診療開始前に問診票への自己記載を依頼しているが、診療中に問診票に記入済みの情報を追加確認する必要がある（例：「喫煙歴あり」の方が、禁煙したのか、現在も喫煙中なのかが不明瞭）、診察室内でのバイタル測定に時間を要する等の診療時間を短縮するための改善点に気がついた。診療開始前の時間を有効活用することで、QI における 6 つの目的（Richardson, et al. 2001）のうち「効率性」における診療の質の向上につながると考え、問診票の改訂作業に取り組むことにした。SMART（Doran GT. 1981）に沿って設定した目標を示す（下表）。

S(Specific)	M(Measurable)	A(Achievable)	R(Result-oriented)	T(Time-bound)
問診票の改訂	問診票改訂後のアンケート評価	臨床に運用可能	診療の効率化を目指す	運用 3 か月後に評価

また、PDCA サイクル（Aguayo R. 1990）に沿って改善を試みた（下図）。



初診担当医、指導医、外来看護師、外来クラークと問診票の改訂について話し合い、改善の余地があると考えられる点を募り、それぞれにつき具体的な改善策の作成を行った（下表）。

問題点	改善策
治療中の疾患/既往歴に関して、どこの病院で通院加療を行っているのかが不明瞭	治療中/既往歴の疾患それぞれに対し、疾患名と通院病院名を併記して記載して頂くよう変更
喫煙を元々しないのか、禁煙したのか、吸う場合に現在何本吸っているのかが不明瞭	吸う・禁煙した・元々吸わない、の3項目から選択頂き、1日あたりの本数の欄も設けた
飲酒歴の欄で、具体的な飲酒量が不明瞭	お酒の種類・頻度・量の記載欄を設けた
家族歴、家族構成、職業の記載欄なし	記載欄を新たに設けた
うつ病のスクリーニングをする時間がない、忘れる場合がある	気分の落ち込み、抑うつ気分の有無の記載欄を新たに設けた
バイタルサイン(血圧・脈拍数、体温など)を診察室で測定するため時間がとられる	診療開始前に、看護師補助のもと、患者自身にて測定頂くようにした

次に改訂した問診票の実際の運用を開始し、運用3か月経過後に、問診票改訂後の診療について初診担当医(計6名)へアンケート(5段階リッカート尺度および自由記載)を実施した(下表)。

質問項目	平均	1	2	3	4	5
1 問診すべき項目の漏れ	2.8	少なくなった	やや少なくなった	変わらない	やや多くなった	多くなった
2 診療時間	2.5	短くなった	やや短くなった	変わらない	やや長くなった	長くなった
3 診療の質(正診率)	3.3	悪くなった	やや悪くなった	変わらない	やや良くなった	良くなった
4 診療の効率(全体的な印象として)	3.8	悪くなった	やや悪くなった	変わらない	やや良くなった	良くなった

アンケート結果からは、問診票の改訂が問診すべき項目の漏れ、診療時間短縮につながり、診療の質、効率の向上につながったと考えられた。自由記載では、「喫煙歴を問診する時間が省けた」、「抑うつが関与している可能性を診察開始前に予想できることで、問診で必要な情報を取りこぼすことが少なくなった」という意見があり、改訂の目的を達成できていると考えた。

一方で、「患者によっては問診票記載に時間がかかり、診察開始時間が遅くなる場合がある」という意見もあった。看護師、外来クラークとも相談したところ下表のような場合が多いため、それぞれについて改善策を講じた。さらに今後も年に1回のペースで評価していく方針となっている。

考えられる要因	改善策
認知機能低下があり、問診票の質問内容を理解できない場合	事務職員、看護師が記載の補助を行う
不安や神経質な性格などから、細かくびっしりと文字を埋めようとする場合	記載途中に声掛けをし、診察開始時間の目途を伝え、その時間までに記載頂くようにする

【総合考察(病院総合診療専門医の具体的な医師像を含む)】

今回、問診票を改善させることで、日常診療における質の改善を改善させるためのPDCAサイクルを実践することができた。この経験を活かして、今後様々な部門や階層での院内診療の最適化に貢献したい。

記載者：現病院名 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX 病院 氏名 XXXX
 教育責任者：病院名 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX 病院 氏名 XXXX (印)